

令和3年度 教職員による学校評価

11月実施 総務部
回答数:45名

■ 1. よく当てはまる ■ 2. だいたい当てはまる
■ 3. あまり当てはまらない ■ 4. 当てはまらない

質問事項		1	2	3	4	
今年度の重点目標	学習指導	1 基礎・基本の定着と、授業の質の向上（生徒の思考力・判断力・表現力を高める授業やICTを活用した授業）による授業改善と生徒の学力向上を図る。	16	26	3	0
		2 自学・自習の主体的な学習態度を養い、家庭学習習慣の確立と内容の充実を図る。	5	30	10	0
	生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立と、他を思いやる心、勤勉奉仕の精神を育む教育を推進し、共生社会に生きる生徒の資質を高める。	11	29	5	0
		2 規範意識の醸成に努め、事故や盗難等のない安全安心な学校づくりに努める。	12	27	5	0
		3 挨拶や端正な服装の着用、交通ルール遵守等、地域社会から評価される態度と整容を身に付けさせる。	7	30	7	1
		4 部活動、学校行事、生徒会活動等へ積極的に取り組ませる。	10	27	8	0
	進路指導	1 面談等を通して自己理解を深めさせ、自己の生き方を主体的に探究する「志教育」を推進する。	12	30	1	1
		2 生徒の自己実現のために、3年間を見通した系統的、組織的な進路指導の一層の推進に努めるとともに、全教員が最新の進路情報を取り入れる研修の機会を設ける。	7	29	7	3
		3 国立大学や難関私大等に現役合格できる学力と第一志望を最後まで諦めない強い意志を養う。	8	28	7	1
	健康・安全・防災	1 生徒の心身の健康保持と体力増進を図る。	18	26	1	0
		2 交通安全の意識高揚(特に自転車通学マナー)を図り、事故の未然防止に努める。	11	31	3	0
		3 防災教育を通して日常の安全点検や避難訓練の充実を図り、地域社会と連携して危機的状況にも対応できる学校を目指す。	12	33	2	1
魅力ある学校	1 学力の質を担保する授業を基に、生徒の夢を最後まで諦めさせない進路指導の充実を図る。	12	26	5	1	
	2 学校ICT化により本校教育活動の充実と広報に努め、英語科教育のPR等を積極的に行う。	15	26	3	1	
	3 新学習指導要領への対応とともにICT機器活用の推進、実践的英語運用能力の充実を図る。	15	25	4	1	
職場環境	1 学校目標に関する認識を共有し、校務の円滑化・効率化を図り、職員の多忙化解消に努める。	10	18	14	4	
	2 コミュニケーションを大切にされた報告・連絡・相談に基づく職員間の連携協力に努める。	7	26	8	4	
	3 校内外研修の充実により、職員のスキルアップ及びキャリアアップを目指す。	7	31	5	1	
部・学年の努力目標	総務部	1 教育環境の整備に努め、校務運営の円滑化と活気溢れる校風の醸成を図る。	15	29	1	0
		2 保護者・同窓会・地域など、関係団体との連携・協力関係の形成に努める。	15	29	1	0
	教務部	1 基礎・基本の定着を大切にし、授業の質を向上させることで生徒の学力向上を図る。	14	25	7	0
		2 学習習慣の確立と内容の充実を図り、自学・自習の主体的な学習態度を養う。	10	27	8	0
		3 令和4年度からの新学習指導要領を円滑に実施できるよう努める。	16	22	5	1
		4 教務支援システムの円滑な運用に努める。	15	29	1	0
	生徒指導部	1 学習環境の整備に努める。	13	28	3	1
		1 基本的な生活習慣を身に付け、挨拶・制服の着こなしなどをとおして地域社会から評価され、社会人として通用する態度を身に付けさせる。	11	27	5	1
		2 規範意識の醸成に努め、他を思いやる心を育む。	11	27	7	0
		3 教科外活動(部活動・生徒会活動・学校行事等)に積極的に取り組み、泉高校生としての自覚と誇りを持たせる。	12	23	8	1
	進路指導部	1 個性・適性の発見を促し、将来の生き方を探求させ、目標の早期確定と学力の伸長を図るよう積極的に指導援助する。	15	22	7	1
		2 大学入試制度等の情勢の変化に対応するため、より有効・適切な情報を収集・作成し各方面に提供する。	14	25	5	1
3 生徒・保護者・地域の期待に応える進路指導体制を構築する。		10	27	7	1	
4 情報機器等の活用によるデータや資料の分析を通して、適切な進路指導を行う。		18	25	1	1	
保健厚生部	1 保健教育の充実と積極的な健康管理の実現に努める。	18	29	0	0	
	2 生活環境の整備と美化の推進を図る。	15	30	0	0	
	3 教育相談の充実を図る。	20	25	0	0	
	4 安全管理に努める。	20	25	0	0	
教育企画部	1 「総合的な探究の時間」の指導体制を工夫し、全職員で学習指導要領に掲げる目標の達成に努める。	16	27	1	0	
	2 教職員のスキル向上や直面する諸問題の解決につながるような「職員研修」を企画・実施する。	11	27	5	1	
	3 学校の特色づくりを目指した「将来構想委員会」を企画立案し、全職員で課題等を考える場を設定する。	16	23	4	1	
	4 「志教育」、「道徳教育」を推進する。	8	29	5	3	
情報・図書部	1 教務支援システムおよび公務支援システムの円滑な運用	15	30	0	0	
	2 情報機器の適切な運用	18	24	3	0	
	3 学校ホームページおよび一斉メールの運営と管理	19	25	1	0	
	4 図書館及び視聴覚室の整備・充実	15	27	3	0	
事務部	1 会計事務の適正な執行に努める。	25	20	0	0	
	2 施設設備の良好な維持管理に努める。	22	23	0	0	
	3 「チーム泉高」としての取組を踏まえ、職員室と事務室の連携強化を図る。	27	16	0	1	
英語科	1 英語を使って自分の考えを自信を持って発表できる能力を身につけさせる。	15	26	4	0	
	2 英語科行事や「世界に発信する高校生育成事業」「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」等を活用し、グローバル教育の充実を図る。	15	20	7	3	
	3 英語運用能力を測るための外部英語テストを活用し、より客観的な評価を行い、事後の指導に役立てる。	15	24	4	1	
第1学年	1 主体的に行動する姿勢を育てる。	10	33	3	0	
	2 情報と思考する機会を提供し、適切な進路選択ができる力を育てる。	14	30	1	0	
	3 家庭学習の習慣と、計画的に学習に取り組む姿勢を育てる。	11	30	4	0	
	4 多様性を認め、他者を尊重する社会人としての基礎となる生活態度を育てる。	16	26	3	0	
第2学年	1 中堅学年として果たすべき役割と責任を自覚した言動ができるようにする。	15	22	7	1	
	2 自分を知り、自分の特性を理解したうえで、進路目標を明確にできるようにする。	14	26	5	0	
	3 1年次に確立した学習習慣をもとに、さらに基礎学力を定着させ、進路目標実現のための応用力を育成する学習姿勢へと発展させる。	12	26	5	1	
	4 多様性を認め合い、尊重できる心の力を育てる。	16	23	5	0	
第3学年	1 最終学年としての自覚と責任を持ち、主体的かつ積極的な行動ができるようにする。	15	23	5	1	
	2 自己の特性を理解し、社会に貢献できる人材となるように努力する姿勢を身につけさせる。	12	29	4	0	
	3 進路目標に向けて計画的に学習する姿勢を促し、大学入試に対応できるだけの学力向上を目指す。	14	28	1	1	
	4 仲間を大切に思う気持ちを養い、他者とともに生きる心を育てる。	14	24	7	0	

